

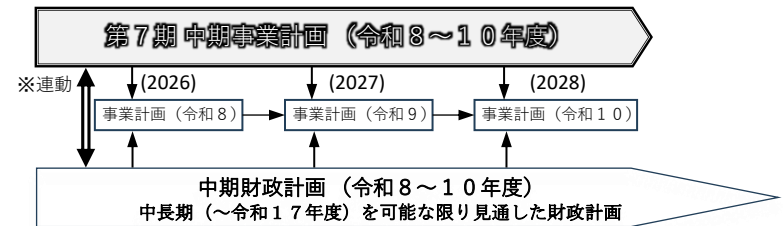
I 計画策定の背景

- 日本経済は、令和4年頃に始まった物価上昇が現在も継続しており、デフレ脱却の局面が近く、「成長型経済に移行し経済の好循環を実現する好機」と言われている。しかし、中小企業の多くは人手不足や原材料・エネルギー価格高騰、円安、賃金引き上げに伴う人件費増、金利上昇、消費低迷等の諸問題に直面しており、さらに、世界情勢の不安定化や米国関税措置に起因する影響も懸念される状況にある。
- 地域の中小企業が「収益改善や従業員の所得向上」を実現するためには、企業の自己変革が重要であるとともに、その努力に対する支援の継続も必要である。また、「地域経済の再活性化」に向けて、地域に人と投資を呼び込むことが好循環に繋がるため、官民の役割分担の下で、民間の創意工夫と地域の特色を生かした取り組みを喚起していくことが極めて重要である。
- 宇都宮市は、「LRT「ライトライン」のJ R宇都宮駅西側延伸や西口周辺地区整備、中心市街地の「歩いて楽しいまちづくり」、新たな産業団地の整備、M I C E誘致、スポーツ・文化振興等を積極的に推進しており、地域経済社会の変動が随所で感じられている。
- 第7期中期事業計画は、「宇都宮地域」の経済好循環の実現に向けて、企業と地域の持続的成長を促進することを目的とし、このため、企業の自己変革への挑戦を支援する第6期計画の考え方を受け継ぎ発展させながら、地域総合経済団体として本計画を着実に遂行することを以って「地域とともに歩み、挑戦し、選ばれる商工会議所」を目指していく。

II 計画策定の目的

地域産業の振興発展と社会一般の福祉の増進を図る唯一の地域総合経済団体であるという認識の下、社会経済環境の変化や課題を的確に捉え、地域企業の発展や地域経済の活性化を図るため、今後3年間に取り組む事業を明らかにし、計画的かつ着実に推進する。

III 計画期間と位置付け



IV 第6期中期事業計画（令和5～7年度）の総括

【施策の柱1】 企業活力の強化

- コロナ禍の影響やコスト増に苦しむ企業の相談増加に対し、経営指導員や専門家による相談支援体制を構築するとともに、第2期経営発達支援計画に基づく事業や、再生支援、事業承継等の受託事業を、関係機関との連携の下で取り組んだ。
- ⇒ **引き続き企業に寄り添い、経営環境の変化に対応した「自己変革への挑戦」を支援する。**
- 人材確保が大きな経営課題となる中、セミナーや職場見学会を実施し、女性、高齢者、障がい者など多様な人材が能力を発揮できる職場づくりを支援するとともに、各種検定試験など自己研鑽機会の提供や、市内大学における地域企業の認知度向上・魅力の発信を図った。
- ⇒ **行政と連携し大学生、高校生など若者の地域企業への就職に繋がる支援策を検討する。**

【施策の柱2】 地域経済の活性化

- 宇都宮駅東側の大型集客施設やLRTの開業によって、人流が大きく変化した。また、中心市街地の空き店舗解消・賑わい創出や、治安対策・個店支援等の商店街支援、食品ロス削減、SDGs推進に取り組んだ。

V 基本理念及び活動方針

基本理念

地域企業の持続的発展と経済の好循環に向かって、
ともに歩み、挑戦し、選ばれる商工会議所

活動方針

- 企業の自己変革を最大限に支援します ⇒ **頑張る企業の挑戦をしっかり後押し**
 地域に密着し宇都宮のさらなる活性化に寄与します ⇒ **次代につなげる「宮の魅力」の磨き上げ**
 商工会議所の持続可能な経営を目指します ⇒ **商工会議所の機能と組織力の強化**

⇒ **消費低迷や中心商業地等の変化に対応した商業振興支援を行う。**

- 宇都宮市や関係団体と連携した内外からの誘客やM I C E推進、優勝バレードなどプロスポーツ連携による観光振興、イベント開催等によって中心部の回遊性向上に寄与した。
- ⇒ **関係者と連携し、中心部・西北部への誘客や滞在長時間化を図る取り組みを行う。**
- アグリネットワークにおける新商品づくりや高速道路S Aバイヤーとの商談会、専門相談員と連携した自社商品の磨き上げ・展示会出展など企業の販路拡大を支援した。
- ⇒ **専門家連携による商品磨き上げや、農産物を活用した商品化等を通して商業振興を図る。**

【施策の柱3】 政策提言・組織・財政基盤強化

- 部会・委員会運営やアンケート調査等によって会員企業の声を集約し、国県市や日商へ政策提言・要望を行ったほか、宇都宮プレックスの新アリーナ整備に係る緊急要望を実施した。
- ⇒ **中小・小規模事業者の実態把握に努め、市等への提言要望に反映する。**
- 会員企業の巡回・窓口対応等によるニーズ把握や、必要とされる情報の提供、会員の加入促進・退会防止に努め、組織率を維持した。
- ⇒ **会員や地域にとって魅力ある事業を実施し、会員満足度や当所収益の向上に努める。**

基本理念を実現するために横断的に取り組むテーマ

テーマ1 地域企業の持続的発展

テーマ2 人材確保・育成

テーマ3 賑わい創出と交流促進

テーマ4 販路開拓・拡大

テーマ5 政策提言の強化

テーマ6 組織・財政基盤の強化

施策の柱1 企業活力の強化

施策の柱2 地域経済の活性化

施策の柱3 政策提言及び組織・財政基盤の強化

施策の柱1 企業活力の強化

テーマ1 地域企業の持続的発展

- 経営指導員による小規模事業者の経営改善支援
 - 経営指導員による巡回・窓口相談 〈R10目標：窓口相談 6,000件〉
 - 税務指導事業 〈R10目標：記帳継続指導 185件〉
 - 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）事業 〈R10目標：推薦 50件〉
- 売上向上・販路拡大等に対する伴走支援
 - 経営発達支援（伴走型小規模事業者支援推進）事業〈R10目標：計画策定支援 180件〉
- 中小企業の事業再構築、新分野進出支援
 - 事業環境変化対応型支援事業 〈R10目標：相談 400件〉
- 創業支援
 - 創業支援 〈R10目標：伴走支援者 34件〉
- ICT利活用・DX推進
 - ICT活用支援 〈R10目標：導入支援 120件〉
- 中小企業の事業再生・事業承継支援
 - 中小企業再生支援（栃木県中小企業活性化協議会） 〈R10目標：支援完了 74件〉
 - 事業承継・引継ぎ支援（栃木県事業承継・引継ぎ支援センター）〈R10目標：相談 65件〉

■ 事業継続力強化・リスクマネジメント支援

- 事業継続力強化支援 〈R10目標：計画策定支援 12件〉
- 各種共済・福祉制度 〈R10目標：共済加入事業所 1,300件〉
- 損害保険加入促進 〈R10目標：業務災害加入 520件〉

テーマ2 人材確保・育成

■ 働き方改革とダイバーシティ経営の支援

- 働き方改革支援 〈R10目標：セミナー 20人〉
 - 女性の活躍推進支援 〈R10目標：セミナー 100人〉
 - 障がい者・高齢者・外国人の雇用促進 〈R10目標：セミナー・見学会 4回〉
- 地域を支える人材の確保・育成支援
- 各種検定試験 〈R10目標：受験申込 4,500件〉
 - 市内大学と中小企業とのマッチング支援 〈R10目標：連携事業 1回〉
 - 人材採用育成定着支援 〈R10目標：セミナー 2回〉

施策の柱2 地域経済の活性化

テーマ3 賑わい創出と交流促進

- 中心市街地の賑わい創出支援
 - ◎ 中心市街地まちづくり将来展望研究 〈R9目標：とりまとめ報告〉
 - 中心商業地新規出店促進 〈R10目標：新規 20件〉
- 関係機関等との連携による商業活性化支援
 - 宮の市（商業祭）への支援 〈R10目標：1,000人（デジタルタワラー参加者）〉
 - 宇都宮市商店街連盟支援 〈R10目標：研修会 6回〉
 - プロスポーツチーム支援による消費喚起支援 〈R10目標：広報支援 3回〉
- 餃子・カクテル・ジャズ、LRT等の観光資源を生かした賑わい創出支援
 - ミア・ジャズイン実行委員会支援 〈R10目標：来場者 10,000人〉
 - 観光イベント支援 〈R10目標：イベント 7件〉

■ 関係機関との連携による北西部地域の観光交流促進支援

- 大谷地区観光促進支援 〈R10目標：関係団体との連携〉

テーマ4 販路開拓・拡大

- 農業と他産業との連携による新商品・新サービス創出支援
 - 農商工連携推進 〈R10目標：新規採択 7件〉
- 販路拡大支援
 - 経営発達支援（伴走型小規模事業者支援推進）〈R10目標：計画策定支援 180件〉（再掲）
 - 販路開拓支援 〈R10目標：参加企業 30社〉

施策の柱3 政策提言及び組織・財政基盤の強化

テーマ5 政策提言の強化

- 会員意見等の集約と政策提言活動
 - 政策提言 〈R10目標：市への予算化措置要望 1回〉
 - 部会・委員会 〈R10目標：10部会 6委員会〉

テーマ6 組織・財政基盤の強化

- 持続可能な商工会議所の経営
 - 会員管理・加入促進 〈R10目標：一般会員 6,000件〉

- 広報広聴 〈R10目標：HPアクセス数 159,000回〉
- 人材育成 〈R10目標：人材育成体系運用〉
- スマートCCI（DX）推進 〈R10目標：業務効率化〉
- SDGs推進 〈R10目標：とちぎSDGs推進企業の更新〉
- ◎ 働きやすい・働きがいのある職場づくり 〈R10目標：諸制度改善〉

VII 中期事業計画の実効性を高めるために

- 第7期中期事業計画の策定にあたり、第6期中期事業計画の検証結果を踏まえ、人口減少・少子高齢化やデジタル社会の進展、環境問題等の社会課題とともに、地域経済において今後起こり得る経営環境の変化や地域情勢、経営課題等を予測し策定した。
- 重点事業については、PDCAサイクルに則り、毎年、事業の進捗状況や成果等の検証

を行い、結果を総務企画委員会等に報告する。

- 事業の検証にあたっては、当商工会議所が担う役割の必要性や関与の度合い、さらに、財政計画との整合性等に留意し総合的に考察することとし、その結果は、事業の拡充や再構築、スクラップなど、以降の年度別事業計画や事業運営に反映させていく。